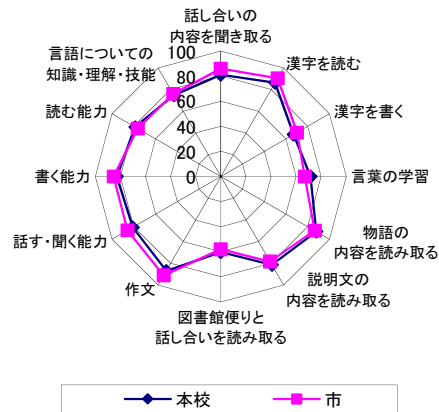


宇都宮市立岡本小学校 第6学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容を聞き取る	81.1	85.9
	漢字を読む	86.4	90.4
	漢字を書く	67.0	70.1
	言葉の学習	71.6	66.9
	物語の内容を読み取る	87.9	86.5
	説明文の内容を読み取る	81.3	78.4
	図書館便りと話し合いを読み取る	60.2	58.1
	作文	86.9	91.0
観点別	話す・聞く能力	81.1	85.9
	書く能力	83.0	85.4
	読む能力	78.8	76.6
	言語についての知識・理解・技能	74.8	76.0



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容を聞き取る	・宇都宮市の平均正答率よりも低い。話し手の意図を考えながら内容を聞くことはできるが、話し手の話し方の工夫を考えて聞いたり、自分の立場や意図をはっきりさせながら自分の意見を話したりする力が、市の平均よりも下回っている。	・学習活動全体において、聞く態度の更なる育成を図り、話の内容や話し手の意図を聞き取る力を高めていく。また、役割を交換しながら話し合いを行うことにより、それぞれの立場での工夫を身に付けさせる。さらに、自分の立場や意図をはっきり相手に伝えることができる意見の話し方を指導し、身に付けさせる。
漢字	・宇都宮市の平均正答率を下回っている。特に第5学年配当漢字を読んだり書いたりする問題の正答率が、市の平均よりも下回っているものが多い。	・引き続き、授業や朝の学習、家庭学習において、現学年の漢字の読み書きを練習させるとともに、前学年の配当漢字も計画的に練習させ、漢字を読んだり書いたりする力の定着を図る。
言葉の学習	・宇都宮市の平均正答率を上回っている。特に俳句の理解についての問題の正答率は、宇都宮市より14%高い。ただ、敬語の使い方については宇都宮市をやや上回っているものの、正答率は60%前後であり、十分定着しているとは言えない。	・熟語の構成に関しては、折に触れ復習できるように、国語の授業において繰り返し指導する。敬語については、日常の会話の中で教師が意識して取り上げたり、同じ言葉を尊敬語や謙譲語に直す活動を行ったりして定着を図る。
物語の内容を読み取る	・宇都宮市の平均正答率をやや上回っている。登場人物の様子や心情を読み取る問題の正答率はいずれも85%を超えており、その力はおおむね定着していると言える。	・さらに力を伸ばすために、登場人物の気持ちを読み取る際には、必ずその根拠となる行動や言葉などの叙述を明らかにさせたり、情景描写などからも考えさせたりする。また、読書活動を推奨し、多くの物語に触れさせる。
説明文の内容を読み取る	・宇都宮市の平均正答率よりもやや高い。文と文のつながりを考えたり、段落の要点に注意して読み取ったり、細かい点を正確に読み取ったりする力は身に付きつつある。しかし、文章の内容を全体的にとらえる力が不十分である。	・段落ごとの要点をまとめたり、段落相互の関係をとらえたりする練習を繰り返し、いっそうの力の伸長を図る。また、筆者のいちばん言いたいことが書かれている段落と、具体的に説明している段落とを見極め、その関係を考えることにより、文章の内容を的確にとらえる力を養っていく。
図書館便りと話し合いを読み取る	・宇都宮市の平均正答率よりやや上回っているが、他の内容の問題と比べるとその正答率は低い。資料を正しく読み取り適切にまとめたり、2つの資料を関連させて、正しく読み取り考えたりする力に課題があると言える。	・文章を正しく読み取り、大事なところを箇条書き等でまとめる練習を行う。また、国語の学習だけでなく他教科等においても、複数の資料を関連付けながら正しく読み取る活動を取り入れ、力の定着を図る。
作文	・宇都宮市の平均正答率を下回っているが、正答率が85%を超えているものがほとんどで、おおむね定着していると言える。ただ、宇都宮市の正答率より10%下回っている二段落構成で文章を書くことに関しては課題がある。	・文章を書くときの基本的な書きを確認し、身に付けさせる。また、長さや段落構成などの与えられた条件の中で文章を書いたり、自分の意見とその理由を区別して書いたりすることを繰り返し、書く力の定着を図る。